

月刊 永藤タイムズ

大阪府議会 第18期スタート

～大阪再生への挑戦は続く～

大阪府議会議員
ながふじ ひでき
永藤英機です。



基礎行政って何？



5

月28日から大阪府議会・5月定例会が始まりました。4月に大阪府議選が実施されて以降初めての議会です。

府議会議員の数は109人の定数から88人に2割削減されました。初当選を果たした方、引退された方、引き続き議員を務める方、残念ながら涙を呑んだ方。様々な思いを胸に、第18期大阪府議会がスタートしています。

私

自身も、二期目となる今期は新たな役割を拝命しました。大阪維新の会・大阪府議団ではこれまで2年間続けた政調役員(教育部会長)から、副政調会長(教育委員会・府民文化・商工労働担当)に。維新府議団の政策決定に深く関わる立場であり大阪府政に対する責

任もより重いものとなります。他にも会派の代表として出席する会議が加わったりと期数を重ねたことを実感することが多くなりました。また、今年度の所属の委員会は府民文化常任委員会に決定しました。選挙の時に掲げた「国内外から人を呼び込む魅力ある大阪」をはじめ、これまで取り組んできた「百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録」の実現、そして地元・堺と大阪府の効果的な連携を目指します。

ま

た5月定例会では、住民投票後の大阪府政の在り方が大きなテーマとなります。初日に行われた議長選では大阪維新の会の今井豊議員が選ばれました。今後、大阪都構想の対案となるものが他党から出てく

るかどうか、知事からどのような発言があるかなど、6月11日までの短期間の議会日程の中にも濃いやり取りが予想されます。(結果については次号で詳しくお伝えします)

大

大阪府と堺市の役割分担を明確化し、税金を無駄にしないことなど効果的・効率的な施策を実行する。そして堺における区の「基礎行政」を拡充することで住民にとって本当に望ましい行政サービスを実現する。これが私が引き続き目指す役所の在り方です。大阪維新の会はこれまで「大阪府と政令市との二重・三元行政解消」と「区

題は未だ解決をしていません。一方で、これまで訴えかけてきたことが一定身結び、国の法律(地方自治法)が改正されました。詳しくは裏面の「府政トピックス」でご紹介します。

可

能な手段を駆使しながら、少しでも大阪・堺が良くなるように知恵を絞って行動します。「大阪再生」を諦めることなく成し遂げるために、これからも真摯な議論を行ってまいります。



平成26年5月に「府県と政令市の二重行政の解消」などを目的に地方自治法が改正されました。府と市の役割分担についての主なポイントは以下の通りです。

①「調整会議」

・政令指定都市と都道府県の仕事について、連絡や調整をするために必要な協議をする「調整会議」を設置する。(話し合いをすることで二重行政の解消を目指す)

・協議が上手くいかないときは、知事・市長の申し出によって総務大臣が勧告を行う。

②「総合区」

・区が行う仕事の範囲を条例で決める。

(今より多くの仕事ができるようになる)

・議会の中に、区ごとの常任委員会を置く。

(今は地域別の委員会は無い)

・権限を持った「総合区長」を置くことができる。

※議会の同意が必要

「府と政令市の役割分担を明確にして、これまで続いてきた二重行政を解消・防止する」、「区のできる住民サービスを現在とは比較にならないくらい向上させる」。これらを目指すものが大阪維新の会が提唱した「大阪都構想」でした。今回の地方自治法改正はまだ決めなくてはいけない事柄が多く、このままの状態では運用することができません。また「大阪都構想」ほど明確に仕組みを作るものではありませんが、その趣旨は盛り込まれているように感じています。現状の問題を解決するために、今後も様々な案の検証を行い、実行に結び付けたいと思います。

● 出前 府政 報告会、行います! ●



3名様以上お集まりの場にお伺いして、府政の現状について直接お伝えします。右下に記載の電話、FAX、メールなどでご相談ください。(会費無料)

月刊永藤タイムズバックナンバー案内

月刊永藤タイムズのバックナンバーをホームページにて公開しています。

<http://www.nagafujihideki.com>

ながふじひでき 検索

毎月発行しています!



コラム「住民投票の結果を受けて」

5月17日に行われた大阪市民を対象とした住民投票では、賛成が約69.5万票・反対が約70.6万票と僅かの差で否決されました。これにより、今まで大阪維新の会が『大阪再生』を目的に掲げた「大阪都構想」という手段に終止符が打たれました。私自身も地域政党・大阪維新の会が発足した当初から活動に関わり、大阪府議会でも幾度となく議論を重ねてきただけに残念で悔しい思いです。しかし、前を向いて進まなければなりません。今回の各コーナーでも触れましたが「大阪府と政令市の二重行政の解消と防止」、「区の役割の充実」は未だ課題として残ったままです。何よりも大阪を成長させるためには、大阪全体が一丸となって世界の都市との競争に打ち勝っていかなくてはなりません。ようやくスタートラインに立ち始めた『大阪再生』を一時的なものではなく将来に渡って続けるためにはどのような仕組みが望ましいのか、真剣に考えることが必要です。そのような意味では府議としての私の二期目は「止まっている改革を動かすための道筋をつけ、新しい大阪の土台を作る4年間」と考えています。そのために他党派とも積極的に話をしながら大阪・堺がより良くなるよう行動していきます。

【永藤英機 プロフィール】

昭和51年7月13日生まれ(38歳)。大阪府立大学経済学部を卒業後、SEとしてコンピュータ会社勤務、その後ファイナンシャルプランナーとして株式会社を設立。2008年2月に橋下知事が誕生し、「今なら大阪が本当に変わるかもしれない」と共に大阪府政改革に取り組むことを決意。2015年4月、大阪府議会議員に二期目の当選。(堺市堺区選出)大阪維新の会大阪府議団・副政調会長



■府政に関する相談やお問い合わせは
大阪維新の会 大阪府議会議員

永藤英機事務所 まで!

〒590-0971 堺市堺区栄橋町1丁7-3 栄橋ビル4階
TEL (072)228-3331 WEB: <http://nagafujihideki.com/>

FAX: (072)344-5676 MAIL: info@nagafujihideki.com



ご意見、ご感想をお寄せ下さい!

